

人と人、人と自然とのつながりを学ぶ環境学習 地域の人々とつくる「ふるさと葉山川博物館」

身近な自然環境である葉山川での環境学習を基点に、地域の自然や人を愛し、みんなが幸せに生活するために、環境に配慮した暮らしや行動の仕方について考え、実行していける子どもをめざす。

1 学校の概要

本校は、京阪神のベッドタウンとして人口が急増している草津市に位置する。

平成17年よりエコ・スクールの実践校の指定を受け、校区に流れる葉山川を中心とした環境学習を重ねてきた。平成19年には淡海こどもエコクラブ大賞を受賞し、近年はFBC（フラワーブラボーコンクール）にも参加し、自然や生き物とのふれあいを体験する学習を積み重ねてきている。また、平成24年度から環境リーディング事業の指定を受け、より環境学習に重点を置いて取り組んでいる。

2 「エコ・スクール笠縫東」がめざすもの

(1) キーワードは、「つながり」

社会では、地球温暖化、オゾン層の破壊、水質汚濁など、様々な環境問題がメディアに取り上げられている。

それらの問題は何か一つを変えれば解決するような問題ではなく、様々な立場の人と協力しながら少しずつ解決していかなければならない問題である。一人ひとりが自分勝手な考えを改め、相手の立場に立って行動したり、将来を見据えて行動したりする事が大切である。

本校が進める環境学習のねらいは、人と人、人と自然のつながりを学び、思いやりの心をもって行動できる子どもを育てることにある。

(2) エコ・スクールは、仲間づくりから…

本校の「環境学習」は「自然環境」という意味だけでなく、「地域・人」も含め、「自然・地域・人」を広い意味での「環境」ととらえている。

一年間を通して、地域の方々にお世話になりながら地域の川である「葉山川」を基点に環境学習を進めており、このことから「葉山川学習」と総称している。

また、全学年が、生活科・総合的な学習の時間を中心に「葉山川学習」に取り組んでいる。この学習の一番のねらいは、自分の育ったふるさとの環境に愛着や誇りを持つことである。そして学びの過程において、子どもたちと地域の人々との「つながり」を特に重要視している。地域には、子どもも地域での学習をサポートする「地域協働合校推進委員会」があり、特に、エコスクールについては「エコスクール支援委員会」を開き、学校と地域とが連携して学習を進めている。子どもたちには、学習を通して、自然のすばらしさや人の心のあたたかさに気づき、ふるさとを大切にする心が養われてきている。



4年生「葉山川での魚とり」

(3) 6年間を通した取組

低学年では川原にある草花を中心に、生活科の遊びの中で身の回りの生命に触れている。

中学年では、理科の学習と併せて、昆虫や水生生物などの小動物の観察を中心に調べ学習をしながら、「なぜこの生きものがここにいるのか。」ということについても考えられた。

特に、4年生では、川探検で川の中に入り、水生生物や魚をつかまえたり、川底の感触や水の冷たさを体感したりすることにより、より身近な川に感じる事ができた。また、川の中に多くみられるごみの問題についても考える機会となった。

高学年になり、5年生では、葉山川から琵琶湖に視点を広げて、フローティングスクールの学習に加えて、外来魚についても体験を交えた学習を行った。6年生では、地域で環境保全活動されている方々のお話を聞いて、その方の思いや生き方に触れ、そこから今後の自分の生き方を考えていく学習を行った。

3 子どもの博物館づくりを支援する

教師・保護者・地域住民・市民団体・行政・学識者などが、「エコ・スクール支援委員会」を設置し、子どもたちの葉山川学習をサポートする仕組みを整えている。委員会では、自然や人とのかかわりを大切にした学習プログラムづくりや支援のあり方について議論してきた



「ふるさと葉山川博物館」

4 つながる博物館・ふるさと葉山川博物館が完成

毎年地域で開催されている学区民の交流祭りの日に「ふるさと葉山川博物館」を開館している。多くの来館者があり、一方的に展示を見せるのではなく、子どもたちと地域の人々とが交流し、つ

ながりが生まれた。

5 子ども学芸員タイム

子どもたちが全員が学芸員として展示物の前に立ち、直接展示物の解説を行う時間を設けた。また、展示物については、なるべくみんなが触れながら学べるような物も作って、楽しんでもらった。

子どもたちは、自分の言葉でふるさととの自然について語ることができていた。



「草津市子ども環境会議」

6 発表の場を設ける

今年はスペシャル授業で来てくださった方や環境省から来てくださった方に自分たちの学校の自慢として、葉山学習を紹介することができた。また、草津市で行われたこども環境会議にも複数のグループが参加し、葉山川学習で学んだことを発表することができた。こうした取り組みの中で、学習したものがより自分のものとなり、自分の思いや考えを伝える力がついていくものと思われる。今後も人と人とのつながり、人と自然とのつながりを大切にしながら、環境学習を進めていきたい。

葉山川学習で出会った地域の人々とのつながりは、今後も続いていこう。地域の自然をテーマにした環境学習は、持続可能な地域づくりであり、町づくりである。子どもたちが自分の住む町に愛着や誇りをもつことこそ、その第一歩である。

学校名草津市立笠縫東学校
住所草津市平井3丁目8-1
電話番号077-564-4391
E-mail info@kasanuihi-p.sk.ed.jp